

## 新潟県立看護大学創立10周年記念講演会

日 時 平成23年5月12日(木)

開学10周年記念式典 10:30～11:30

記念講演会 11:30～13:00

会 場 「デュオセレッソ」 上越市西城町 TEL.025-526-3111(代表)

収容人員 約300人 入場無料

講演予定者 げんゆうそうきゅう 玄侑宗久 氏

### 【プロフィール】

1956年、福島県三春町生まれ、安積高校卒業後、慶応義塾大学中国文学科卒。さまざまな仕事を経験したあと、京都天龍寺専門道場に入門。2000年、「水の触先」が「新潮」に掲載され、第124回芥川賞候補になり、2001年「文学界」に掲載された「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。その後の小説作品に、『アブラクサスの祭』、『化蝶散華』、『アミターバ 無量光明』、『リーラ 神の庭の遊戯』、『テルちゃん』（以上、新潮社）、『御開帳綺譚』、『龍の棲む家』（文藝春秋）、『祝福』（筑摩書房）などがあり、ほかに仏教や禅にまつわるエッセイや対談本も多

い。2007年、柳澤桂子氏との往復書簡「般若心経 いのちの対話」で第68回文藝春秋読者賞を受賞。2008年には「Aデール」が第34回川端康成文学賞の候補になった。近著にエッセイ集『無功德』（海竜社）、呼吸についての五木寛之氏との対談『息の発見』（平凡社）、『禅のいろは』（PHP）などがある。2008年2月より、福聚寺第35世住職。また妙心寺派現代宗学委員。福島県警通訳。福島県立医大病院 経営審議会委員。2009年4月より京都・花園大学文学部客員教授（国際禅学科）

## 後援会の主な事業

### 会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。創立10周年記念事業へ補助します。

### 学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜連祭（大学祭）、継燈式、球技大会の助成を行います。

### 学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣、実習に伴う雑費を補助します。

### 学生福祉増進事業

学生食堂の受託経営者及び自動販売機設置業者に対し、光熱水費を補助することにより、食事及び清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。学外オリエンテーションの費用を補助します。

### おしらせ

平成23年度新潟県立看護大学後援会総会  
平成23年4月7日(木) 入学式終了後

本学ホール



# 後援会だより



11月6日に行われた桜連祭(よさこいサークル)

## C O N T E N T S

- ごあいさつ ————— 2
- 桜連祭 ————— 4
- 奨学金、学生相談窓口 ————— 6
- 進路状況、進路ガイダンス ————— 7
- 創立10周年記念講演会、後援会案内 ————— 8





## 学園から社会へ

新潟県立看護大学

学長 渡 邊 隆

今年も、早や、卒業式をむかえる時期になってまいりました。今年の冬はとくにきびしく、上越市は、平成18年の豪雪以来5年ぶりの大雪の年となつてしまい、学生の皆さんは、通学に大変苦労されたことでしょう。そうしたなか、92名の学部生が、4年間の学生生活をおえ卒業し、3名の大学院生も修了を迎えることになりました。

先日、卒業予定の学生と教職員の懇談会を行ないました。参加して下さった学生からいろいろのご意見をいただきました。今後の大学運営にうまく生かしていきたいと思っております。私たちの大学は、高校からストレートに入学してくる学生の他、短大や専門学校を卒業して、一旦、看護職に就いてから入学してくる編入生もおります。したがって、年令も、社会経験の度合もかなり違った学生たちが、一緒に大学生活をおくっているわけです。この会で、就職活動についてどんな考えをもっているのかを伺いました。今年、大学卒業生は、就職超氷河期時代を迎えていると社会ではいわれています。こうしたなか、看護職につく本学の学生にとって、就職活動はどんなに映っているのかは、興味のあるところでした。ストレートの学生にとっては、看護職を得ることが、とにかく大学生活の最終目的になっているのです。一方の編入生にとっては、看護職には就くことが、人生における最良の選択なのかという問いをしながらの就職活動であることを語ってくれました。就職が最終目的とする学生がいる一方、その就職を通しての自分の人生を考える学生が共生している学園；それが本学なのだと再確認しました。社会経験のちがいのある学生たちが、一緒に学園生活をしている本学の意義をここに発見しました。

今年度卒業生92名は、これから国家試験を受けます。昨年は、100%の合格率だったが、本年度はどんな結果になるのか、楽しみなところです。

(平成23年2月1日)

## 23年度【年間カレンダー】

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入学式・後援会総会（4月7日）	前期授業開始（4月13日） ガイダンス（4月8日～12日）	1年次生学外オリエンテーション（4月15日～16日） 創立10周年記念講演会（5月12日） 開学記念日（5月8日）	継燈式（7月7日）	夏季休業（8月1日～31日）		後期授業開始（10月3日）	大学祭【桜連祭】（11月5日）	冬季休業（12月23日～1月6日）			春季休業（3月19日～31日） 卒業式（3月16日）



## 旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科

卒業生代表 青 野 巧

2年続きの豪雪に見舞われ、寒さの厳しい日々が続いたこの上越にも春が訪れようとしています。高田公園の桜が開花する日が近づくとともに、私たち6期生の上越での生活が終わりを迎えようとしています。

私たち新潟県立看護大学看護学部看護学科6期生、92名は、このよき日に、無事に旅立ちの日を迎えることができ、とても幸せに感じております。ご来賓の皆様方には大変お忙しい中、ご臨席を賜り、誠にありがとうございました。また、渡邊学長をはじめ、諸先生方には、私たち卒業生のために盛大な卒業式を挙げて頂き、卒業生一同大変ありがたく感じております。

今日の卒業を迎えるまで、振り返ると4年間沢山の思い出がありました。まずは、4年前の入学式に遡ります。新しい生活に期待する反面、友人ができるか、勉強について行けるかなどの不安を抱えることもありました。しかし、行事やサークル活動を通して友人や先輩方と交流を深めるにつれ、それらの不安は解消されていきました。また、初めて見た上越高田の桜に感動し、友人たちと花見をしに行ったことを覚えています。

2年次では、サークル、行事の中心的役割として活動することが多く、企画、運営することの大変さを痛感するとともに、成功した時には何事にも変えられない達成感を感じることも出来ました。また、基礎看護学実習があり、初めて体験する患者さんとのコミュニケーションやケアの提供、記録などを自分が行うことが出来るのか不安でいっぱいだったこと、カンファレンスで患者さんの事を思い、皆で涙を流したことを覚えています。

3年次では、領域別実習が始まりました。5ヶ月間に渡る実習を通して個別性のある看護を提供することの難しさ、人が死ぬという事の辛さを痛感するとともに、命の尊さ、患者、家族が抱えている痛み、看護の奥深さ、面白さを学ぶことが出来ました。

4年次では、看護研究や国家試験などがあり、あっという間に一年間が過ぎていったように感じます。看護研究では、諸先生方は領域別実習で忙しい中、私たちのために遅くまで指導して頂き大変ありがたく感じております。国家試験では、日々不安が大きくなっていく中で、友人たちと叱咤激励しあい最後まで頑張り抜いたという事が、私たちの財産になると感じています。

こうして4年間を思い出してみると、全てが昨日のこのように思い出され、また、楽しい時、辛い時、どんな時でも周りに諸先生方、友人、後輩たちがいて様々な形で支えてもらっていたのだと感じます。この4年間の思い出は、何年経っても忘れないです。

春からは社会に出る人、進学する人、それぞれの道を進むことになります。また、新たな生活や慣れない業務、社会人としての責任に押しつぶされそうになったり、壁にぶつかることもあると思います。そのような時は、大学生活での思い出、諸先生方、友人、後輩たちの顔を思い出し、正面から壁にぶつかっていき、乗り越えていきたいと思えます。また、これから私たちは、大学で得た知識や経験を元に、身体的な看護はもちろんの事、精神面の看護、家族の看護にも卓越した看護師になれるよう、日々精進していきたいと思えます。

本日まで私たちに温かいご指導をくださいました渡邊学長をはじめとする、教職員の方々、私たちが学校生活を送りやすくするため尽力くださった事務の職員の方々、毎日温かい食事や元気をくださった食堂の方々、いつも学校を綺麗にくださった清掃の方々、皆様には様々な形で私たちを支えていただきました。心より御礼申し上げます。そして、どんな時も私たちを見守り、支えてくれた家族の存在があったからこそ、私たちはこうしてここまで成長することができました。そして、後輩のみなさんには、充実した大学生活や沢山の思い出をいただき、心から感謝しています。皆さんには、いろんなことに挑戦して、より一層新潟県立看護大学を盛り上げていって下さい。皆さんなら絶対にできます。そして、6期生の皆さん、皆さんと入学し、学校生活を過ごせたこと、そして今日この日を迎えられた事を幸せに思います。本当に4年間ありがとう。この新潟県立看護大学で得たものは、私たちの一生の宝物であり、今後の支えでもあると感じています。この4年間を胸に刻み、本学の6期生として誇りを持ち、旅立つことをここに誓います。

最後に、本日ここに心温まるご祝辞とご臨席いただきました皆様に重ねて御礼申し上げるとともに、後輩の皆様方のご健闘とご活躍を祈り、新潟県立看護大学のより一層のご発展を願って旅立ちの言葉とさせていただきます。

(平成23年3月18日)



# Student Activities On The Campus!!

## 第9回 桜蓮祭

平成22年11月6日(土)

### 逢縁奇縁 ～地域・人との出会いのキセキ～

#### 内多 優衣 (2年生 実行委員長)

Interview.01

私は桜蓮祭委員長としてさまざまな事前準備を行うことの忙しさと手探りの作業への不安が続きました。しかし、私の不安をよそに、桜蓮祭委員のみんなは本当に私を支えてくれました。私は、この桜蓮祭でみんなが多くの大学生活で得たものを発揮できるよう進行することが目標でした。桜蓮祭では、多くの笑顔が見られました。地域の方、生徒、子供が、笑顔からすがすがしい顔、ちょっと悔しい顔・・・見ていてとても充実しているな、と感ずることができて本当に良かったです。本当にこの桜蓮祭で多くのことを学び、経験しました。日常生活では責任感を強く感じることも、学校や地域の温かみを感じることもなかなかできないので、私はこの役目ができたことを幸せに感じます。

今後の大学生活や、社会に出て、働くようになってからもこの経験を生かしていきたいと思えます。一生懸命に作業をしてその成果がある喜びを体験できて、より充実した大学生活を送れるようにあと2年間努力していきたいです。

バスケットボールサークルの肉まん販売



#### 牛腸 綾香 (2年生 副実行委員長)

Interview.02

今年度は天候にも恵まれた中で無事第9回桜蓮祭を開催することができたことを心より嬉しく思います。今年度は『逢縁奇縁～地域・人との出会いのキセキ～』をテーマとし、多くの出会えた方々に感謝の気持ちを表せたらと思いました。

昨年度は新型インフルエンザが間近になって流行し対策に戸惑いましたが、今年度は昨年に習い事前に予防対策をとることができました。桜蓮祭実行委員は1年生6人、2年生6人の計12人という少ない人数で準備を進めなくてはならなかった大変なことも多くありました。桜蓮祭が近づくにつれ学校が閉まるギリギリの時間まで作業をする日も増えました。しかし、委員みんなで協力して準備を進め無事当日を迎えることができました。

当日は昨年度と同様に子ども用ウォークラリーを行い、それに加え大人用ウォークラリーも行い多くの方々に楽しんでもらったと思います。学生や教職員、地域の方々、多くの皆さんに支えられ今年度の桜蓮祭は成功することができました。たくさんのご協力ありがとうございました。

来年度は第10回という節目の年を迎えることになります。多くの方に看護大学を知っていただき、日頃の感謝を伝えることのできる素晴らしい桜蓮祭になってほしいと思います。

#### 松本 みのり (1年生 実行委員)

Interview.03

実行委員として桜蓮祭に携わったことで桜蓮祭が様々な方々の協力のもとで開催することができているという事を感じることができました。スポンサーの方々をはじめ、企画を用意して下さった保育園のみなさん、事業者さん、また地域の方、ご来校して下さったお客様みなさんのおかげで第9回の桜蓮祭が成功で終わることができたのだと思います。たくさんの方々との出会いや関わりを通して、今回の桜蓮祭のテーマである「逢縁奇縁」に込められた「皆さんとの出会いの奇跡」と「今まで築いてきたものの軌跡」という二つの意味を感じられるものになったと思います。

1年生にとっては初めての事で実行委員の仕事がよくわからないまま先輩に頼りきりになってしまった部分も多々あるのですが、来年は私たちが主体となって桜蓮祭を盛り上げていかなければなりません。そして来年は10回目となる年なので、今年以上に実行委員を中心に学生自身が意識を高く持ち歴史のある桜蓮祭を盛り上げていけたらと思います。また、来年もたくさんの方々のご来校をお待ちしております。



「健康戦隊はかレンジャー」

Campus Life

Check!!

看板も頑張って作りました!



よさこいサークル



ほしめきサークル

ふれあいコミュニケーションサークル



合唱サークル



オリジナルTシャツ、トレーナーも販売しました



バドミントンサークルのフルーツポンチ販売



ダンスサークル



バンドサークル



エアロビクスサークル



茶道サークル



## 平成22年度卒業生 進路状況 (平成23年3月18日現在)

## 進路状況

	県内就職	県外就職	進学	計
女子	57名	26名	4名	87名
男子	0名	5名		5名
計	57名	31名	4名	92名

## 都道府県別就職状況

就職先	看護師	保健師	助産師	その他就業	計
新潟県	49名	6名	2名		57名
愛知県	2名				2名
秋田県	1名				1名
石川県		1名			1名
神奈川県			1名		1名
群馬県	1名				1名
埼玉県	1名				1名
滋賀県	1名				1名
東京都	7名				7名
千葉県				1名	1名
富山県	2名	1名			3名
長野県	7名				7名
福島県	2名	2名			4名
山形県	1名				1名
計	74名	10名	3名	1名	88名

## 看護師・保健師・助産師・その他就業別就職状況

		看護師	保健師	助産師	その他就業	計
県内就職	新潟県出身	48名	6名	2名		56名
	県外出身	1名				1名
県外就職	新潟県出身	8名				8名
	県外出身	17名	4名	1名	1名	23名
計		74名	10名	3名	1名	88名

.....

## さあ、自分の進路目標の実現に向けて動き出そう！

## ～低学年向け進路ガイダンスの開催～

国家試験対策・就職委員長 関谷 伸一

本学の学生たちが目指す看護職は、やりがいがあると同時に重い責任と労働を伴う厳しい職業です。またその多くが女性であるために、結婚や育児といったライフイベントとの兼ね合いが難しい仕事でもあります。これらがすべての原因とは言えませんが、看護職者の離職、とりわけ新卒看護職員の職場離れが問題になっています。働く女性が増えている現在、将来を見据えて仕事を継続し、プロとしての知識や技術に更なる磨きをかけてキャリアアップしていくためにも、生き生きと継続して働いてほしいと願っています。

その様な願いをかなえるためには、就職する前から学生の職業意識を高めておくことが重要かと考えられます。そこで、従来の本学での進路ガイダンスは就職活動の始まる4年生を対象に開催されてきたのですが、新たに低学年向けの進路ガイダンスを開催することにしました。学生時代の早くから自分の進路目標の実現に向けた取り組みができるように、と考えたわけです。

10月28日に1～3年生を対象に開催されたこのガイダンスでは、本学の卒業生3名を招き、進路決定までの迷いや取り組み、職場での体験などを話してもらいました。残念ながら参加学生は少なかったのですが、集まった学生は先輩の話に耳を傾け、講演の後には次々と質問の手が上がりました。みな自分の将来を真剣に考えている証拠です。学生が自分の進路目標の実現に向けて何を準備すべきかを考えることができるようになるよう、今後もこのような取り組みを継続していきたいと考えています。

## アンケートでの自記載事項

## 先輩の体験談について

**1年生** ●3つの職業の話を聞いて、自分はほんやりしていたけどとても参考になった  
●さまざまな職種のお話が聞けてよかった ●少し将来について考えてみようと思った  
●具体的な現状を聞けてよかった ●詳しく聞けてよかった

**2年生** ●生の声が聞けて、参考になった点が多い ●具体的な就職活動の様子が聞けてよかった

**3年生** ●それぞれの職業での卒業後の仕事のイメージができた

## 進路ガイダンスが必要か

**1年生** ●ためになったから必要  
●将来の姿、これからやらなければいけないことが見えてくるから必要

**2年生** ●就職活動が全くわからないから必要  
●色々知りたいから必要  
●進路を考え始めるのは今や1,2年生から始めて当然の時代だから必要  
●早い時期から意識するきっかけになるから必要



卒業生から体験談の発表



参加者からはたくさんの質問が...

## ●病院奨学金のご案内

各病院では、以下のような奨学金制度を設けているところがあります。

【〇〇病院の例】・貸与額（月額）50,000円(無利子)

・申込随時受付。就職内定前でももちろん可能。

・返還特例／**借りた期間、〇〇病院で働けば返還免除！**

もし、**就職したい病院が決まっていたら大変お得**です！

その病院に、奨学金制度があるかどうか確認してみてください！

確認方法は...

- ・病院のホームページで確認してみる。ホームページに掲載していない場合、直接電話で確認してみる。
- ・大学に届いている奨学金案内は学内の奨学金掲示板に掲示してあります。

## ●学生支援窓口は、図書学生係が担当しています!!

奨学金、授業料の減免や納入期限延長など、  
学生生活を支援する窓口が図書学生係です。

奨学金については、家計が急変した方対象の奨学金制度も随時受け付けております。

また、保護者様からの学生生活に関わる各種の相談も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談下さい。

新潟県立看護大学教務学生課図書学生係

TEL.025-526-2811(代)

なお、「心の健康相談室」を毎週木曜日（10時～15時50分）に設け、学生が抱える各種の悩み等に専門カウンセラーが応じていますので、こちらもぜひご利用下さい。

## 「心の健康相談室」の申込方法

学生が、カウンセラーのメールアドレスに下記事項を送信する。

記載事項：学年、氏名、学籍番号、希望日時、返信先アドレス

メールアドレス：**counselor@niigata-cn.ac.jp**